2026年４月６日

各　位

上場会社名　株式会社ジェリービーンズグループ
（東証グロース・コード３０７０）
本社所在地　東京都台東区上野１丁目16番５号
代　表　者　代表取締役社長　宮﨑　　明
問合せ先　取締役　ＩＲ広報室長　林　　光
電話番号　(03) 4570-6139
(URL https://www.jelly-beans-group.co.jp/)

（訂正）「2026年１月期 決算説明資料」の一部訂正に関するお知らせ

当社は2026年３月13日付で公表しました「2026年１月期決算説明資料」において、一部修正がありましたので、以下の通り訂正いたします。

記

１．訂正理由

「2026 年１月期　決算説明資料」の発表後に、数値に一部誤りがあることが判明したため、訂正いたします（該当箇所：２～８ページ、10～11ページ）。

２．訂正の内容

訂正箇所に下線＿を付して表示したうえで、訂正後の全文を添付します。

以上

JELLY BEANS Group

2026年1月期 決算説明資料

株式会社ジェリービーンズグループ

エグゼクティブサマリー

1

売上高331.8%増 - M&Aによる連結範囲拡大で3,590百万円達成

831百万円から3,590百万円へと劇的な成長を実現

売上高
3,590百万円 +331.8%

2

営業損失486百万円改善 - コスト構造最適化により△33百万円に縮小

物流体制再構築と固定費削減により筋肉質な体制を確立

営業損失
△ 33 百万円 486百万円改善

3

上場維持基準全項目達成 - 時価総額を含む東証グロース市場基準適合

2026年1月31日時点で全上場維持基準をクリア

純資産
4,931 百万円

4

資本基盤の抜本的強化 - 約80億円の資金調達により純資産4,919百万円 自己資本比率71.4%

大規模増資により成長投資の資金を確保

自己資本比率
71.4 %

5

2027年1月期黒字化見込み - 営業利益304百万円を予想、10期ぶりの黒字転換へ

売上高5,740百万円、収益構造の抜本的改善により黒字化を必達目標に

2027年1月期予想：営業利益
304 百万円 黒字化

決算概要（総括）

売上高

3,590百万円

+331%
前期比

前期比 +331.8% (+2,759百万円)

営業損失

△33 百万円

前期△519百万円から486百万円改善

その他 主要ハイライト

損益の改善：
経常損失△63百万円、純損失△242百万円と、
全段階で前年比から大幅な赤字幅縮小を達成。

セグメント再編：
事業の多角化に伴い、報告区分を「ライフスタイル」と「その他事業」に変更。

連結範囲の拡大：
10社を新規連結し、グループ体制を大幅に強化。

キャッシュフロー状況：

- 営業CF：△2,459百万円
- 投資CF：△1,795百万円
- 財務CF：+5,012百万円（資金調達の実施等による）

2026年1月期の成長ストーリー　V字回復への確かな道筋

売上高331.8%増
831百万円から3,590百万円への劇的な成長

コスト構造の最適化完了
物流体制再構築、無駄のない筋肉質な体制の確立

上場維持基準の全項目達成
時価総額を含む東証グロース市場基準適合（2026年1月時点）

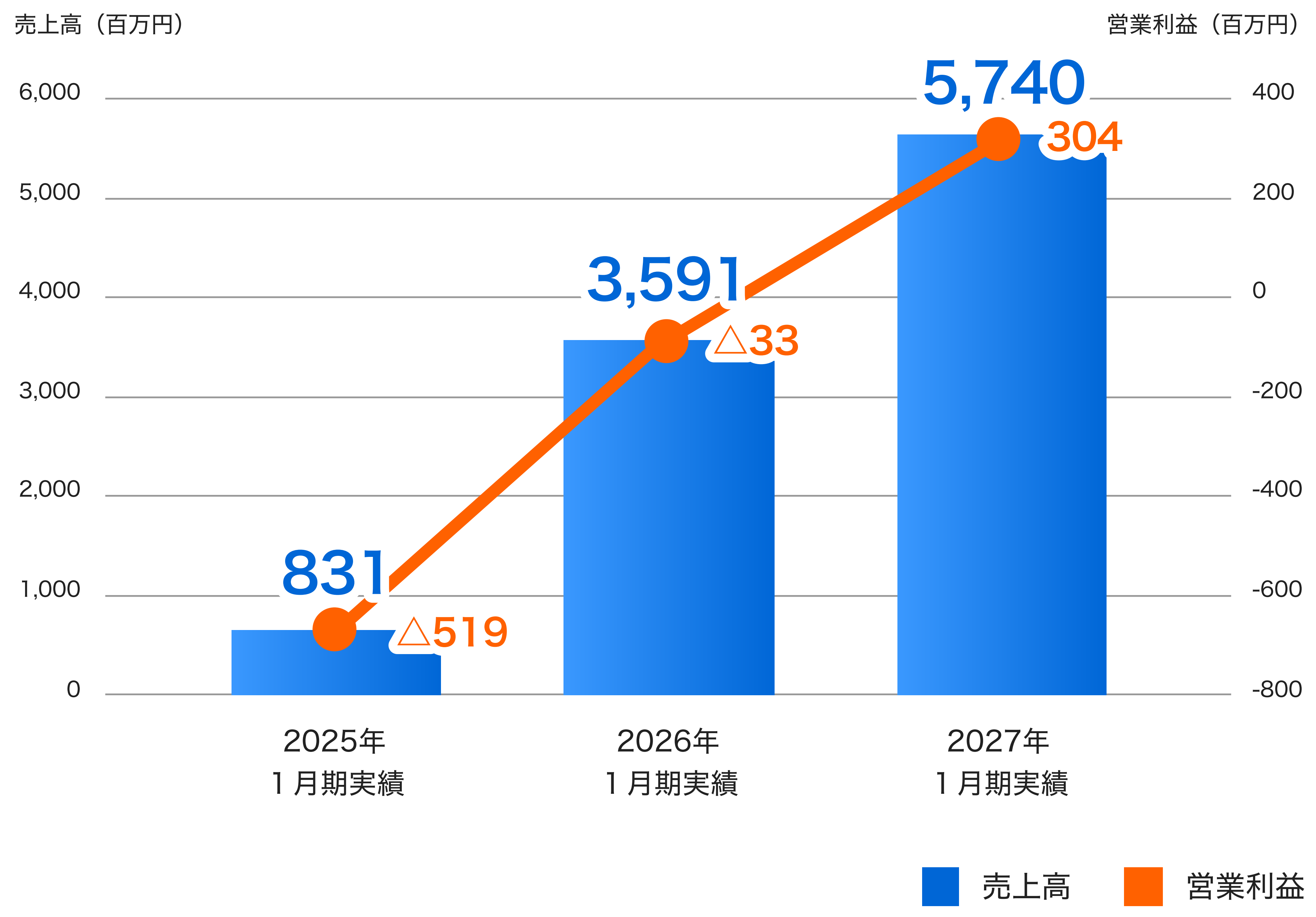
Gold Star子会社化と好調な販売
アイスクリーム関連商品が当初予定を上回る販売実績

大規模資金調達による基盤強化
累計約80億円を調達し、成長投資の資金を確保

2027年1月期の黒字化を見込む
営業利益264百万円を予想、収益構造の抜本的改善へ

業績の急回復と黒字化への軌跡

着実な改善傾向　筋肉質な体制　黒字化基盤確立



連結P/L（損益計算書）

単位：百万円（%は対前期増減率）

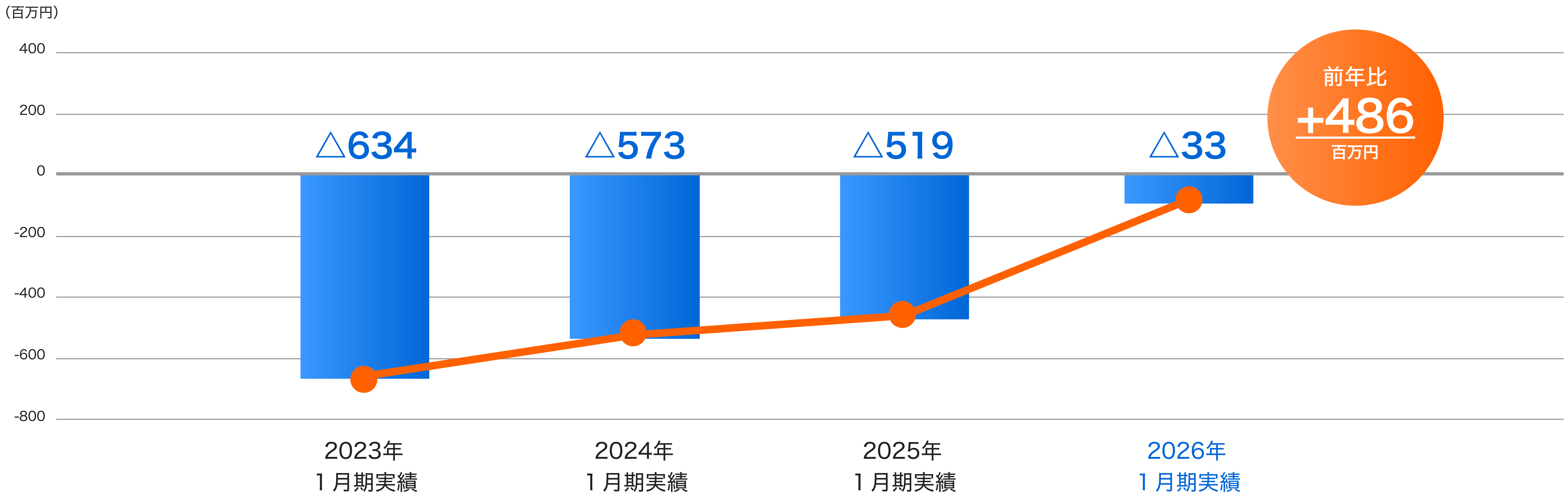
科目	2025年1月期（前期）	2026年1月期（当期）	増減額	増減率
売上高	831	3,590	+2,759	+331.8%
営業利益	△519	△33	+486	—
経常利益	△532	△63	+469	—
当期純利益	△519	△242	+277	—

その他の主要指標（2026年1月期）

1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率（ROE）	総資産経常利益率（ROA）	売上高営業利益率
△4.57円	△9.9%	△1.7%	△0.9%

営業利益の改善推移

婦人靴事業の改善と新規事業に向けた体制整備により、3期連続で赤字幅を縮小。
当期は前期から486百万円の大幅な改善（△33百万円）を達成し、黒字化への基盤を確立。



セグメント実績（2026年1月期）

当期より、子会社の増加に伴いグループの管理区分を事業ごとに見直し、報告セグメントを従来の「小売事業」「EC事業」「その他」から **「ライフスタイル事業」** および **「その他事業」** に変更しております。

ライフスタイル事業	
主な事業：婦人靴販売、スポーツブランド「361°」、アイスクリーム等	
売上高	3,519 百万円
営業利益	377 百万円

その他事業	
主な事業：エンターテインメント事業、サステナブル事業（蓄電池等）	
売上高	71 百万円
営業利益	38 百万円

記：前期までの区分からの変更のため、単純な前年比較は行っておりません。
（前年同期の「変更後区分」での販売高の対比数値は短信内に未掲載のため省略しております）

連結B/S（貸借対照表）

総資産	純資産	自己資本比率
6,645百万円	4,931 百万円	71.4 %
前期 628百万円 (+6,017百万円)	前期 205百万円 (+4,726百万円)	前期 27.1% (財務基盤の大幅強化)

主な増減要因

【資産の部】

現金及び預金： +757 百万円 (資金調達等により増加)

売掛金： +1,174 百万円 (事業拡大に伴う増加)

商品及び製品： +1,137 百万円 (新規連結・事業拡大に伴う増加)

前渡金： +647 百万円

のれん： +763 百万円 (新規子会社化等による)

差入保証金： +368 百万円

【負債・純資産の部】

負債の部

支払手形及び買掛金： +199 百万円

未払金： +239 百万円

前受金： +348 百万円

純資産の部

・株式の発行及び新株予約権の行使に伴い、資本金・資本準備金がそれぞれ +2,422 百万円

・親会社株主に帰属する当期純損失の計上：△242 百万円

グループマップ

株式会社ジェリービーンズグループ

株式会社ジェリービーンズ
婦人靴・雑貨小売・EC

株式会社Gold Star
食料品等の輸出入・卸・小売

株式会社JBロジスティクス
物流・倉庫管理等

株式会社361Sports Japan
スポーツブランド販売代理等

JELLY BEANS KOREA
海外事業展開

MAKE BEAUTURE株式会社
美容・コスメ関連事業

株式会社JBメディカル
メディカル関連事業

【エンターテインメント事業】

株式会社JBエンターテインメント
ファンクラブ運営・コミュニティプラットフォーム展開

株式会社JBBLOCK
エンターテインメント・コンテンツ関連

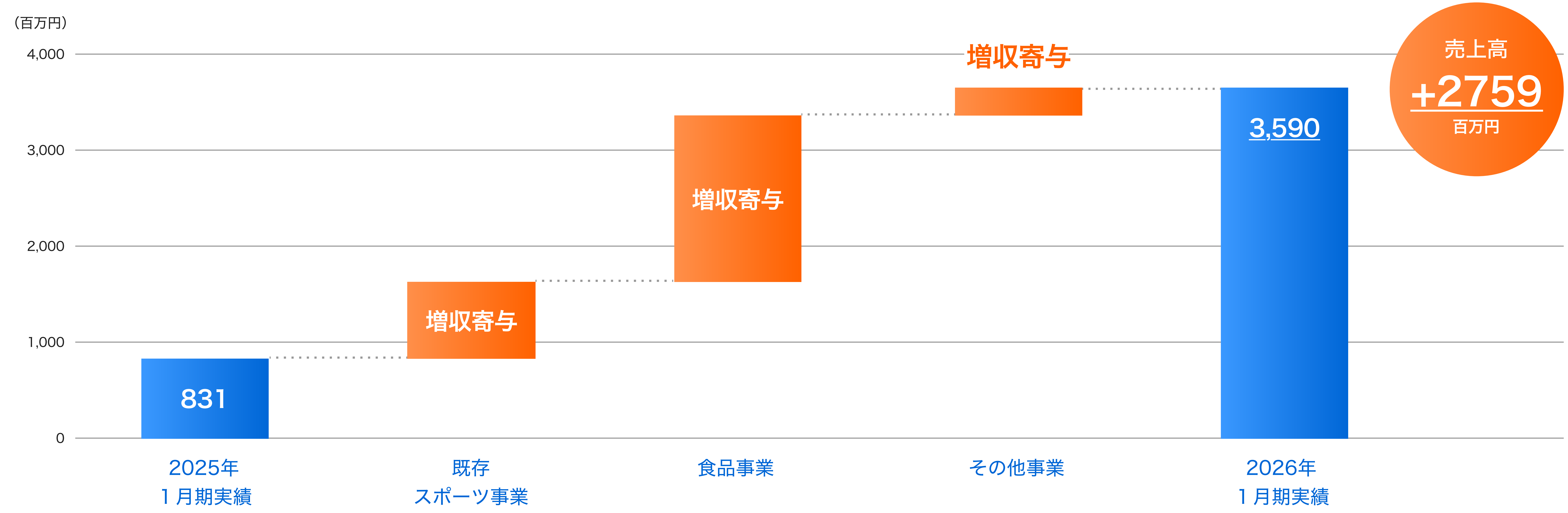
【サステナブル事業】

株式会社JBサステナブル
系統用蓄電池システム・ウォーターサーバー事業等

売上成長ウォーターフォール

2025年1月期から2026年1月期にかけて、売上高は831百万円から**3,590百万円へと大幅に増加**しました（前期比+331.8%）

M&Aによる連結範囲の拡大（株式会社Gold Star等）や、スポーツブランド（361°）の新規展開が主な増収ドライバーとして寄与しております。



主要子会社：株式会社Gold Star

2025年2月6日に株式会社Gold Starの株式100%を取得し子会社化。
女性層ターゲットの拡大と、食品事業という新たな収益基盤の獲得を目指します。

会社化の概要と事業内容

取得概要

取得日：2025年2月6日（100%子会社化）
取得価額：総額 400 百万円
資本金：9 百万円

主な事業内容

食料品等の輸出入及び卸売、小売業
飲食店の経営 等

主な販路と事業の特長

主要販路

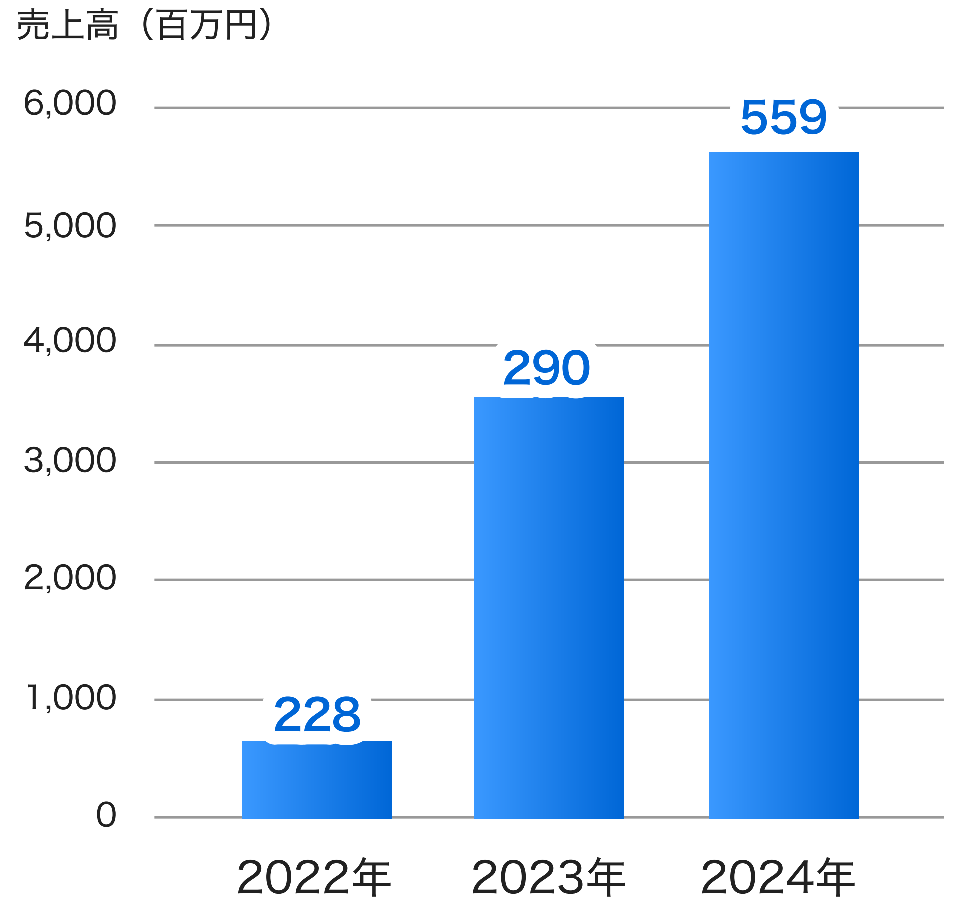
イオン、ローソン、セブンイレブン、ドンキホーテ 等

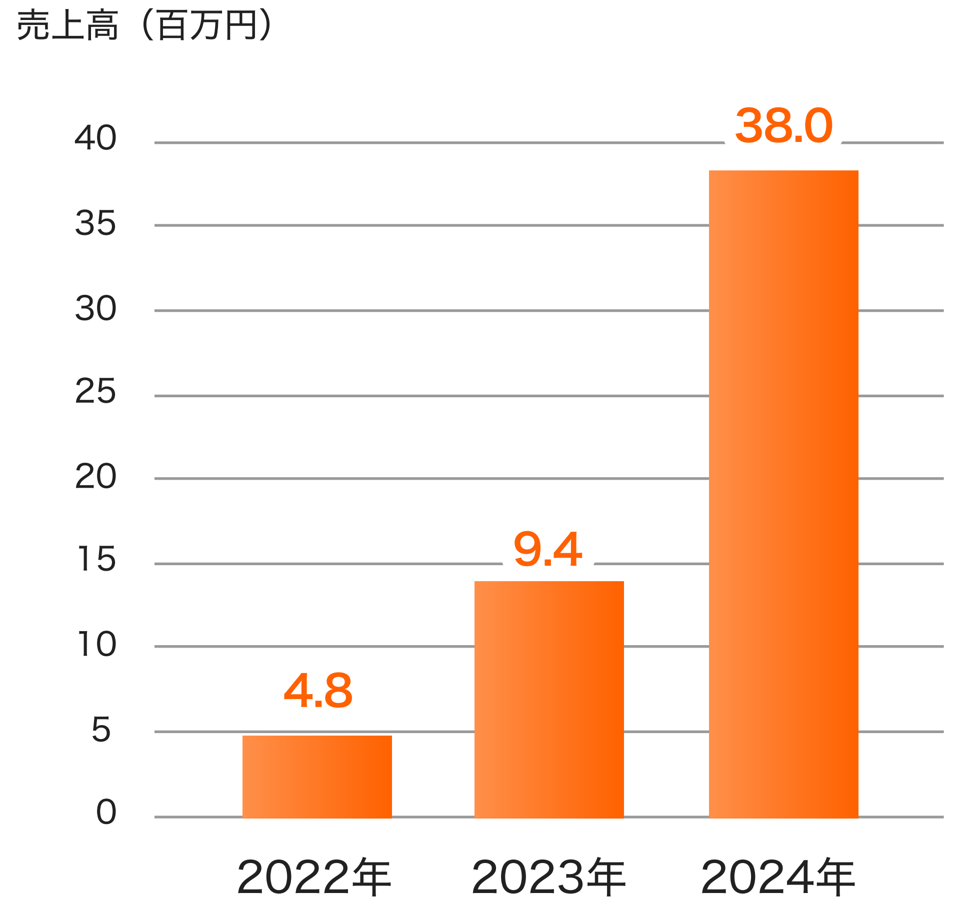
韓国食品の流行を受け、人気商品がTV・SNSで多数露出。
売り切れ続出となるなど着実に実績を残しております。

過去3年間の業績推移（急成長）

売上高推移（百万円）
2.4倍 アップ

純利益推移（百万円）
7.8倍 アップ





主要子会社：株式会社Gold Star

3Dフルーツアイスの大成功

爆発的ヒットと市場の高評価が実証する強力な成長エンジン

爆発的ヒット

予測を大幅に上回る圧倒的な売れ行き

売上貢献

売上高19.7%増を牽引

↓

迅速な供給対応

緊急輸入体制の確立

市場の信頼獲得

将来への成長投資

販促・物流への戦略投資

ブランド価値の向上

戦略投資による将来の収益基盤を確立し持続的な成長軌道へ

新規事業：リカバリーウェア「JELLY BEANS STYLE」

疲労回復やコンディショニングをサポートするリカバリーウェアブランドを新たに展開。
科学的根拠に基づいた技術で、日常の「着る」行為からライフスタイルの質を高めます。

ブランド概要と実績

ラインナップ・特徴

- Tシャツ、ロングスリーブ、ロングパンツ
- 着用感：優れたストレッチ性能で動きに対応し、長時間の着用でも締め付け感を抑えたストレスフリー設計。

HURON技術と遠赤外線テクノロジー

- 独自の「HURONテクノロジー」により、人体が最も吸収しやすい波長4〜14μmの「育成光線」（遠赤外線）を繊維に定着。
- 着用中の血流促進、自律神経のバランス調整、サーカディアンリズムの最適化をサポート。
- 第三者機関認定工場で製造された「管理医療機器」として展開。

科学的データに基づくエビデンス

- 2023年5月のヒーリング医療機器施設での脳波測定、および2024年11〜12月の体育大学での臨床睡眠試験を実施。
- 着用時にリラックス状態を示すα波の増加、ストレス指標であるβ波の有意な低下を確認。

RIZIN限定コラボとターゲット展開

- 2026年3月5日より、日本最大級の総合格闘技イベント「RIZIN」コラボレーションモデルを発売。
- トップファイターの「闘ったあとの回復」を支えるコンセプトを発信。
- アスリート層だけでなく、格闘技ファン、スポーツ愛好者、健康意識の高い若年層など、新たな顧客層の開拓を推進。

新規事業：ゴルフブランド「Rolling Rolleye」

2024韓国Kブランドアワードを受賞した人気ゴルフブランド「Rolling Rolleye」の日本総販売権を取得。
ジェリービーンズグループの新たな商材として、国内での各種販路拡大を推進してまいります。

ブランド概要と実績

ブランドステータス

- 2024 韓国Kブランドアワード 受賞
- グローバルブランドとして世界市場への進出を準備中

店舗展開状況

- 韓国内 54店舗（直営店、マーケット、免税店）
- 海外 2店舗（アメリカ・ベトナム）

日本国内での展開戦略

日本展開ステップ

- 日本初上陸、JBGが日本総販売権を取得
- 提携する各種ECサイトにて先行販売をスタート
- 2025年夏に日本オフィシャルサイトを公開予定

過去3年間の業績推移（急成長）

2024韓国Kブランドアワード 受賞

韓国内 54店舗海外 2店舗 展開中

日本初上陸日本総販売権 取得

新規事業：株式会社JBサステナブル

「共創」と「支援」の仕組みを通じて環境課題に挑戦。
環境問題・防災・水問題・廃油処理をテーマに、持続可能な社会の実現を目指します。

事業概要

環境問題・防災・水問題・廃油処理をテーマに、持続可能な社会の実現を目指すサステナブル事業を展開しています。

主要プロジェクト

再生重油製油所運営事業

- 国内廃油（特に外洋船の使用済み油）を回収・再生
- 非化石燃料として再生重油を供給
- CO2排出削減、環境保全、エネルギー循環促進に貢献

空気から水を作る「AirQua（エアクア）」

- 気温5度以上、湿度40%以上の空気から飲料水を生成
- 電源のみで1日に50～1000リットル以上の安全な飲料水を製造可能
- 災害時や水インフラ脆弱地域での活用に最適

新規事業：株式会社サンライズ（新設）

スポーツ事業を今後の成長戦略の中核と位置付け、Bリーグ参入を目指すチーム運営会社を新設。
山梨県を拠点としたハイブリッドモデルを展開し、グループ全体の企業価値向上を図ります。

会社概要

会社名：	株式会社サンライズ
設立日：	2026年2月20日
代表者：	宮﨑 明
所在地：	山梨県上野原市上野原1614番地
資本金：	100百万円
出資比率：	当社100%
決算期：	1月
主な事業内容：	プロバスケットボール「Bリーグ」参入を目指すチーム運営

設立の目的と背景

成長市場への参入と事業ポートフォリオの高度化

急成長するBリーグ市場へ参入し、中長期的な企業価値向上の新たな柱を確立します。

梨県を拠点とした「地方×首都圏」のハイブリッドモデル

Bリーグクラブが存在しない山梨県を本拠地とし、「地域代表」としての地位を確立しつつ、首都圏へのアクセスを活かした連携を図ります。

既存事業とのシナジー創出

- フットウェア・アパレル事業（D2C）との連携
- エンタメ・IP（知的財産）活用との融合
- ファンコミュニティとデジタルマーケティング

今後の見通しと中期ロードマップ

ライフスタイル事業を中核に成長を加速し、筋肉質なコスト構造と新規事業の収益化により、2027年1月期の黒字転換を必達目標とします。さらに中長期的な企業価値向上に向けたロードマップを推進します。

2027年1月期 連結業績予想

項目	予想
売上高	5,740 百万円 (+59.9%)
営業利益	304 百万円 (黒字転換)
経常利益	278 百万円
当期純利益	164 百万円

今後の成長に向けた重点施策

ライフスタイル事業の成長加速
グループ中核事業として更なる成長と収益確保

筋肉質なコスト構造の実現
物流体制再構築・実店舗撤退による固定費削減

多角化戦略・新規ブランド推進
「361°」店舗展開、リカバリーウェア販売開始

成長領域への経営資源集中
サステナブル事業・エンタメ事業への注力加速

中期経営計画ロードマップ（2027年1月期～中長期）

2027年1月期（FY27）

ライフスタイル	361°店舗展開、リカバリーウェア販売
スポーツ	Bリーグ参入準備（サンライズ始動）
サステナブル	蓄電池・ウォーターサーバー受注拡大
エンタメ	ファンコミュニティ強化

2028年1月期（FY28）

ライフスタイル	361°多店舗展開、既存ブランド拡大
スポーツ	Bリーグ正式参入、地域密着型運営
サステナブル	POROUSα拡販、新規環境商材投入
エンタメ	IP活用本格化、デジタルコンテンツ展開

2029年1月期以降（中長期）

ライフスタイル	海外展開の検討・開始（アジア市場）
スポーツ	スポーツIP事業拡大
全事業	デジタル基盤による顧客LTV最大化
M&A	新規成長事業領域への戦略的投資

免責事項

本資料は、株式会社ジェリービーンズグループ（以下「当社」と言います。）が当社及び当社グループ会社（以下総「当社グループ」と言います。）の企業情報等の提供のために作成したものであり、当社が発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的としたものではありません。

本資料に、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされていますが、これらの記述は、一定の前提（仮定）の下に、本資料の作成時点において当社が入手している情報に基づき、その時点における予測等を基礎としてなされたものです。

これらの記述又は前提（仮定）は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、客観的に不正確であったり、又は将来実現しない可能性があり、そのため将来の見通しと実際の結果は大きく異なる可能性があります。

また、今後、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承ください。